

熊本地震災害に対する

「くまもとアートポリス」の対応について

4月14日以降の一連の地震により、甚大な被害は多方面におよび、多くの尊い命が失われました。改めまして、犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての方に心からのお見舞いを申し上げます。

熊本県においては、熊本城や阿蘇神社などの重要な歴史建造物の被災及び都市インフラや住環境のダメージは深刻な状況であります。

すべての県民に快適で住みやすい環境の創設のために四半世紀にわたり継続されてきている「くまもとアートポリス」では、これらの被災状況を把握すると共に、東北震災や九州北部豪雨災害において仮設住宅内に被災者の安らぎと情報交換の場としての「みんなの家」を提供してきた取り組みのノウハウを活かし、被災者の心に寄り添える熊本「みんなの家」を建設するなどし、早急に熊本地震被災者のために支援したいと考えております。

地元の意見をお聞きしながら、被災自治体、県内の林業関係者、大学、建設関係者、設計事務所、日本各地の建築家、建築ボランティア組織等々と連動し、迅速に対応してまいります。

平成28年4月21日

くまもとアートポリスコミッショナー

伊東豊雄